

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3873400273
法人名	有限会社社・シー・エヌ
事業所名	グループホーム久万いこいの郷
所在地	愛媛県久万高原町入野1726番地 5
自己評価作成日	平成26年8月11日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年9月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

久万高原の豊かな自然の中で季節を感じながら生活されております。入居者の中には、100歳を越えられている方が2名おられます。103歳の方は、いまでもしっかり自分の生活スタイルを崩さず生き生きと生活されています姿は、尊敬以外の何者でもありません。入居者とスタッフの関係も、地域の方が多いからか、のんびりと穏やかな環境です。小さな町でもあり、かかりつけ医も近隣にあり、医療面での連携も速やかにできております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域で獅子舞を教えていた方に、当時の教え子が訪ねて来てくれ、それがきっかけとなり、獅子舞保存会の訪問があり、皆に獅子舞を見せて下さった。畑で作った野菜を皆に食べてもらうことややり甲斐を感じている方には、新しい農具や軍手を買いに行く時には、一緒に出かけて使い勝手の良い物を選んでもらえるよう支援されている。町の共同作業所に通っている方は、仲間と一緒にドライブしたり、回転寿司やラーメンを食べに外食することもある。事業所に帰ると、楽しかった一日の様子を職員に聞かせてくださるようだ。携帯電話でご家族と話したり、外泊して自宅でご家族と過ごせるよう支援されている。

午前、午後、夜間に入浴を支援されており、利用者の体調や希望、職員のシフトも考慮しながら曜日や順番を決めて支援されている。農作業をする方は、作業後に、ご自分で自由にシャワーを浴びて汗を流されている。「ぬるめのお湯がいい」等の好みにもその都度対応されている。お風呂好きの方が多く、「何時から?」「今日は入る日?」と確認する方もおられるようだ。脱衣所には、利用者個別にシャンプーやボディーシャンプーを用意しており、肌の弱い方には、敏感肌用の石鹸を複数試して、合うものを使用できるよう支援されている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 久万いこいの郷

(ユニット名) グラ

記入者(管理者)
氏名 丸山・峯本

評価完了日 平成26年 8月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) いつも笑顔・行動はゆっくり・一緒に楽しくの理念を玄関に掲示のみでなく、ユニットにも掲げ常に意識し取り組んでいます。	
			(外部評価) 事業所理念を「(い)いつも笑顔・(こ)行動はゆっくりと(い)一緒に楽しく」と作り、玄関や各ユニットに掲示されている。法人代表者は、主役の利用者を職員が脇役になって支えながら、「地域に出かけたり、来てもらったりして交流していきたい」と話しておられた。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) アラマ地区の一員として、地域の奉仕活動や秋の地方祭に参加、またホームの行事に住人を招き交流を図っています。ちいさなことだが、入居者が庭で野菜作りをするようになってから、近所の人が気軽に声をかけてくれ、入居者自身も交流を持てるようになってきました。	
			(外部評価) 周辺は、新しい住宅地が開発されて若い世代の家族も住んでおり、日頃から挨拶したり、地域や事業所行事を通して交流されている。昨夏は「夕涼み会」時、バーベキューを企画して地域の方達と一緒に楽しまれ、今年は「お月見会」を催して、いも炊き等で交流することを予定されている。町の「林業まつり」に出かけられるよう支援し、地域の方と一緒に地元の高校生の合奏を聞いたり、餅まきにも参加された。地域の「納涼祭」の花火大会や運動会等にも出かけ、今月9月に行われる敬老会には数名の利用者が参加する予定になっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の民生委員さんや、自治会長さんに運営推進会議に参加をお願いし協力関係を築いています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 前回の会議での検討事項や意見については、取り組みや経過について報告を行っております。外部評価においては、取組状況及び結果について会議の中で報告を行っています。	
			(外部評価) 会議は、ご家族や自治会長、民生委員、介護相談員等が参加して実施されている。毎回、行事や利用状況の報告を行い、その後テーマに沿って意見交換されている。今年度は「服薬事故後の事業所の取組み」や「町の実地指導について」報告したり、年度末には「来年度の行事予定」もお知らせした。町の担当者は、地域との連携や町の高齢者の現状について説明して下さった。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 市町村担当者は、小さな困りごとにも細やかに対応して下さり、サービスが円滑にできるアドバイスもくださいます。	
			(外部評価) 運営推進会議時、自治会長から、「クリーンデイ(地域の清掃活動)後に事業所見学をしてはどうか」と提案があり、約50名の方を事業所に案内して見学いただき、サービス等について説明をされた。実施に当たっては、町の担当者からのサポートを受けながら実施された。月2回訪問がある介護相談員の方からのアドバイスで、汚物入れの洗浄や処理について検討し改善された。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関、ベランダ等 日中は常にオープンで、対応しております。夜間帯のみ、自宅と同じでカギをかけております。また、言葉、態度等については、不適切ケアチェック項目を作成し、職員一人一人が問題意識をもってケアに当たっています。	
			(外部評価) 玄関や裏庭に出る掃き出し窓は自由に入出りできるようになっており、調査訪問時、農作業を日課としている方が「朝昼晩いつでも気が向いた時に出て世話しとります」と教えて下さった。利用者のそわそわしている様子等が見られると、職員は気持ちに寄り添い、じっくりお話を聞くようにされており、現在、ひとりで出て行かれる様子はないようだ。ベッドから足を降ろす場所にセンサーを置き、事務所でコールが鳴ると職員が様子を見に行き対応されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待とは・・を再度認識する為にマニュアルの作成。さらに、不適切ケアを行っていないか、スタッフ一人一人がチェックシートを活用しケアの振り返りに生かしてもらっています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在成年後見制度を利用されているかたもいらっしゃることから、相談員の面会等を通じ、交流を図ることで理解できるようになって来ました。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、事業所のケアに対する考え方や取組及び、特に利用料金やリスク等に関しては時間をかけ説明し同意を得るようにしています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 相談、苦情(意見、要望)に対しては、窓口を設置しております。また、毎月ご家族様にケア状況報告を行っている際、何でも気軽に相談、要望をお願いしますとお伝えしております。更に、面会時には必ず声をかけ要望等うかがっております。 (外部評価) 毎月、久万いこいの郷新聞を発行し、日々の利用者の暮らしや外出、行事の様子、来月の行事予定等をご家族に報告されている。新聞には、近くに道の駅がオープンしたことや運営推進会議の案内等も載せて、気軽に来訪できるよう工夫されている。さらに、利用者別に体調やお小遣いのことを書いた手紙を添えておられる。クリスマス会には、2名のご家族の参加があり、オードブル形式の食事やビンゴゲームを一緒に楽しまれた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回は全体ミーティングを開催し、職員の意見、要望を聞くと共に、1つのテーマを決め意見交換を行っています。また、普段からコミュニケーションを図るよう心がけ、気軽に意見やアイデアが言えるよう努めています。	日頃のケアについては、職員それぞれに考え方があり、職員同士、本音を伝えることに難しさもあるようだ。法人代表者、管理者は、現在、職員の意見や要望を聞ききっかけ作りを試行錯誤されている。アンケート結果や外部評価結果、運営推進会議等、いろいろな立場の人の声や意見をもとにして、職員個々が考えるような機会を作り、さらに、意見を持ち寄って話し合いながら、チームワークを育てていかれてはどうだろうか。
			(外部評価) 毎月の全体会議には、職員の7割以上の参加がある。「職員個々に年2回以上研修に参加する」ことを目標に掲げて、個々のスキルアップに取り組まれている。研修は、休日出勤扱いとなり、研修内容は全体会議等で報告して、皆で共有する仕組みを作っておられる。今年度、法人への要望や職員の意識調査として「職員アンケート」を実施された。管理者は今後、「アンケート結果をまとめ、話し合う機会を持ちたい」と話されていた。おしりがかぶれる方には、職員がアロマテラピー講座で習ったアロマオイルを使った拭きとりスプレーを使うようにしたところ、かぶれが解消されたようだ。おしり拭き等の備品は、介助しながら片手で取り出せるよう、折り紙で飾ったダンボール箱に入れておられた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員のチームワーク構築及びストレス改善の為、年2回は親睦会を開催しています。特に、新職員に対しては、慣れない環境への不安等も考慮し、こまめに職員に声かけ、相談に応じる体制で取り組んでいます。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修においては、自らが学びたい研修に積極的に参加してもらい自己研鑽に努めてもらっています。研修後は、報告書にまとめ情報の共有に努めています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 電話における相談等は行っていますが、まだまだネットワークとまではいっていないのが現状です。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前面談では、環境の変化による精神面の不安が考えられる為、特にゆっくりと穏やかな対応に心がけ本人に受け入れてもらえるように配慮しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 要望をしっかりと伝えてくれる方、遠慮される方等家族も様々であるが、最初がとても重要であるだけに、本音を遠慮なく伝えてもらえるよう、話しやすい雰囲気作りを心がけています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前にサービス内容を検討しているが、実際に入居した際、現状今何が必要かを見極め対応するよう心がけています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入居者との食事はもちろん、それぞれの暮らしのスケジュールにあわせ、時間を共有していくよう努めています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 月1回の定期の状況報告以外にも、気になることがあればその都度電話連絡や、面会時には担当スタッフが率先して家族・入居者の間に入りかかわりを深めています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居者全員とはいえませんが、本人の要望に応え、馴染みの店に出かけたり、住み慣れた家に帰ったり、馴染みの方との交流に努めています。	
			(外部評価) 地域で獅子舞を教えていた方に、当時の教え子が訪ねて来てくれ、それがきっかけとなり、獅子舞保存会の訪問があり、皆に獅子舞を見せて下さった。畑で作った野菜を皆に食べてもらうことにやり甲斐を感じている方には、新しい農具や軍手を買いに行く時には、一緒に出かけて使い勝手の良い物を選んでもらえるよう支援されている。町の共同作業所に通っている方は、仲間と一緒にドライブしたり、回転寿司やラーメンを食べに外食することもある。事業所に帰ると、楽しかった一日の様子を職員に聞かせてくださるようだ。携帯電話でご家族と話したり、外泊して自宅でご家族と過ごせるよう支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 心身の状況や気分、感情によって日内での変化がみられる入居者に対し、他の入居者の働きかけで、安定する場面も多々見られ入居者同士の関係の重要性を感じております。」	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去され引き続き地域の医療機関などにいらっしゃる方などは、関係性を大切にしております。地域以外でも、連絡を入れたり、家族の相談に応じたりしております。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の何気ない会話の中に、思いを感じる事が多々あり、大切な時間と受け止めています。思いを伝えることが困難な入居者については、とにかく、寄り添いを大切にしています。 (外部評価) 現在アセスメントは、介護計画作成担当者が実践者研修で学んだフォームを採り入れながら、事業所独自の様式を作っておられ、日々のバイタルチェックの他、「家族の状況」「社会との関わり」「ターミナルの希望」等の項目を追加し、全23項目についての情報を集めておられる。又、3ヶ月毎に色を変えながら新しい情報を書き加え、1年を経過した頃、全体的に見直す予定になっている。	現在ケアマネジャーがアセスメントの仕組みを作っているところであり、今後さらに、一人ひとりの思いや暮らし方の希望についての情報をもとにした、利用者主体の介護計画の作成につなげていかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居までの生活歴、生活環境、趣味、嗜好等を家族はもちろん、本人を知る関係者に働きかけ、情報を収集し本人のこれまでの暮らしぶりの把握に努めえ居ます。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 担当スタッフを中心に一人一人の一日の過ごし方や生活リズムの把握に努め、できることに目をむけるように努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 最低でも3ヶ月に1回プランの見直しを実施、但し状態に応じて早めのプラン見直し等行っています。毎月モニタリングの実施、及び本人、家族等の要望に耳を傾け、カンファレンスの実施を行っています。</p> <p>(外部評価) 介護計画は、ご本人、ご家族の希望を聞き、担当職員が中心になって、利用者個々のお好きなことや困っていること、課題について話し合い、計画作成担当者が作成されている。夜間寝れず食欲が減退している方に、以前楽しんでいた日本舞踊や唄の話等を聞かせてもらったり、歩行訓練やテレビ体操をして体を動かすことを計画に盛り込み、状態が改善に向かっているようだ。扇子をお渡しすると、自然に手が動き所作を思い出されることから、計画作成担当者は今後、「着物を着て、皆の前で踊りを披露するような機会も作ってみたい」と話しておられた。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 個別記録にはケアプランの実施内容および、日々の気づきを記録。更に、健康チェック表に日々のバイタル、水分、食事、排泄等記録し、状態の変化が常に確認できるよう行っております。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ニーズによっては、現在実施しているサービスでは、足りないこともあり、ユニットで話し合い、今必要と判断したことは、実施するようにしています。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 現在地域支援活動の一環として、障害者向けの就労法人に参加されている。また、理美容サービスの利用や、運営推進会議に地域包括支援センターの方、民生委員、家族、社会福祉協議会の職員、介護相談員の参加あり、地域の情報の把握やアドバイスもいただけています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居される前からの、かかりつけ医が現在も引き続き支援してくれています。	
			(外部評価) 利用者全員、入居前のかかりつけ医に続けて診てもらえるよう支援されており、状態に合わせて受診や往診できるよう支援されている。連携している訪問看護事業所から看護師が毎週来られて、「健康チェック表」を確認しており、助言等もある。言葉が不明瞭な利用者がいることを相談した際には、受診することをすすめられ、早期治療につながったこともある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 常時看護師は居ませんが、週一回定期的に看護師が出勤し、健康チェックを実施し、入居者の健康に関する気づきを伝達してくれます。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 町内の医療機関への入院においては、こまめに医療機関に出向き情報交換につとめています。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 現在 重度化及び看取り対応の方はいらっしゃいませんが、普段から状態観察をこまめに行い、変化時は速やかに主治医との連携が図れるよう取り組んでいます。	
			(外部評価) 入居契約時に、「看取りに関する指針」をご家族に説明し意向をお聞きすると、ほとんどの方が「こちらで最期まで」と希望されるようだ。状態の変化時には再度話し合いの機会を設け、看取り支援にはご家族の協力が必要なことを話し、意向の確認をされている。現在、終末期の状態にあり、「安楽にここで」と希望され事業所で過ごしている方がいる。ご本人はにぎやかな場所を好まれることから、体調の良い時はできるだけ居間のお気に入りのソファで過ごせるよう支援されており、他の利用者も話しかけてくれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 服薬による事故があり、服薬マニュアルの見直し、及びその他の事故予防における気づきのためのマニュアルを作成し、全体会議において再度意識統一を図りました。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2回、消防署の立会のもと、避難訓練を実施しております。その際に、防災研修も行い、知識を向上させております。 (外部評価) 年2回の避難訓練は、消防署の立ち会いのもと、日中・夜間の火災を想定して実施されている。消防署からは「居室の避難は確認できているが、トイレや浴室の避難確認もするように」とアドバイスがあった。又、別日に、地震を想定した避難訓練も実施された。事業所地域は、火災時等、町内放送があり、自主防災組織の方達が応援に来てくれる仕組みがある。水や米・カセットコンロ・レトルト食品・缶詰の備蓄も用意されている。運営推進会議時には、近所の方にもいざという時の協力をお願いしている。又、災害時には、事業所を地域の避難場所にできることや担架も備え、いつでも貸し出せることも伝えておられる。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) たとえ認知症があろうと、一人の人格を持った人間であることを、意識し対応しています。特に、排泄介助時の声掛けは、本人だけにわかるように配慮した言葉かけ、対応に努めています。 (外部評価) 毎月発行している「久万いこいの郷新聞」は、個人名は載せないように配慮をされている。ご家族からの意見もあり、面会簿は、用紙に記入してボックスに入れてもらうよう新しくされた。調査訪問時、職員の利用者への声かけについて、「○○ちゃん」と呼びかけたり、方言がやや荒々しく聞こえるような場面が見受けられた。ご本人の嫌がる様子はなかったが、他の方達への配慮についても考えてみてはどうだろうか。ケアマネジャーは、新たに15項目の「ケアチェック表」を作成しており、職員個々にケアを点検できるような仕組みを作っておられた。	職員の対応や言葉かけは、ケアサービスの質にも大きくかわることでもある。職員自身の気付きは改善への最大の起点でもあり、利用者の立場に立ち、気付きをもとにした取り組みに期待したい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々のかかわりの中で、本人が自然に思いを表せるような接し方に努めています。実際、何気ない会話の中で、思いをポツポツと伝えてくださいます。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入居者全員とは言えませんが、入浴、食事等本人の生活スタイルに配慮した対応を心がけています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 特に担当スタッフは、本人の好みを把握しており、希望に沿った身だしなみや、こだわりを大切にしております。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 全員ではありませんが、食事の下ごしらえ、味見、食器洗い、食器の片付け等、会話しながら楽しく行えています。 (外部評価) 食事は、毎月各ユニットの代表職員が相談し献立を立て、それぞれのユニットで手作りされている。食材は近所のスーパーで購入しており、利用者と買い物に行く際には、お好きな野菜を見つけて「これ食べたい」と手に取ることもあるようだ。料理の得意な利用者は、煮物の味付けや酢物の調味料を調合したり、野菜の下ごしらえや全員分のおにぎりを握ってくださることもある。調査訪問時の献立は、唐揚げやコロッケで、利用者が丹精して育てたトマトも添えられていた。職員は、一人ひとりの様子を見ながら、食器を傾けスプーンですくい易くする等、ご自分の力で食べられるよう工夫されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 入居者ごとに、必要な水分量を把握し、摂取を促し、また食事に関しても食事の形態、摂取量を把握し、栄養摂取・水分確保に努めています。記録に残し、不足時等は、かかりつけ医への連絡等で指示をもらったりしています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 個々に応じた口腔ケアの実施をしており、場合によっては歯科受診を行い速やかな対応に心がけてます。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 9名のうち8名基本トイレでの排泄を行っております。入居者に合わせた、排泄物品(パットの種類、紙パンツ)にて、対応しています。内2名の方が、尿意・便意が確実ではないため、パターンを把握し失禁が少しでも減らせるよう取り組んでいます。	
			(外部評価) 便秘気味の方には、センナ茶や牛乳等、薬に頼らない方法を工夫されている。入居時、紙おむつを使用していた方が「布パンツの方がいい」と希望されたことから、トイレで排泄できるような支援を重ね、現在は、布パンツでご自分でトイレに行けるまでに、状態が改善されたようなケースもある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排泄パターンを記録し、入居者によって何日便がないかを把握し、それぞれにあった対応を工夫しており、牛乳、ヨーグルト、水分量での調整をまず実施し、それでも通じがない場合には、便秘薬の服用を実施しています。	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 午前浴・午後浴・夜間浴と個々に応じて支援を行っております。また、軽作業で疲れたときなどは、シャワー浴をしていただいたり、臨機応変に対応しております。	
			(外部評価) 午前、午後、夜間に入浴を支援されており、利用者の体調や希望、職員のシフトも考慮しながら曜日や順番を決めて支援されている。農作業をする方は、作業後に、ご自分で自由にシャワーを浴びて汗を流されている。「ぬるめのお湯がいい」等の好みにもその都度対応されている。お風呂好きな方が多く、「何時から?」「今日は入る日?」と確認する方もおられるようだ。脱衣所には、利用者個別にシャンプーやボディーシャンプーを用意しており、肌の弱い方には、敏感肌用の石鹸を複数試して、合うものを使用できるよう支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 消灯時間は基本21時としておりますが、個々の就寝時間に合わせ柔軟に対応しています。日中でも、在宅で生活していた時のスタイルがあり、休息を取られる習慣の方には、そのスタイルを維持していただいています。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬事故が5月にあり、再発防止のためマニュアルの見直し、確実な服薬支援を心がけています。個々の処方箋は、ユニットに保管し、今何の薬を飲んでいるか、効能は何か等スタッフ一人一人が把握し、対応するよう心がけています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 昔摂った杵づかを生かしてもらえよう、生活歴や趣味・特技等を把握し、入居者に応じた働きかけに勤めています。誰かが行くと他の入居者の方も行うなどの連鎖反応もあります。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ケアプランに外出支援を導入することで、実施に努めていますが、まだまだ外出ができていないのが現状です。家族の面会時には、家族が外出支援を行ってくださる方もいます。	
			(外部評価) 全員での外出は、全体会議で計画されており、利用者の希望を聞きながら、花見やいちご狩り、ぶどう狩り、久万カントリークラブの並木道散策に出かけたり、近くの道の駅で買い物や外食ができるよう支援されている。職員が同行して松山市内の病院で受診する方は、外食して帰られる。又、入居前から利用している美容院にカラーやカットに出かけたり、顔馴染みの衣料店に洋服を買いに行くことも支援されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本的には、ホームでの管理としておりますが、能力に応じ、少額程度は自分で管理されている方もいます。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族が、遠方にいる入居者さんは、手紙で思いを伝え精神的な安定を図られてる方もいます。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に合わせた壁面レイアウト(幼稚っぽくならないように)を心がけ、また入居者の手作り作品の展示を行っております。外部からの指導にて、においには注意しております。居心地のよい空間作りに大切な五感刺激にも配慮するよう心がけています。	
			(外部評価) 事業所建物は、地元の杉の木をふんだんに使い、木のぬくもりのある温かい造りとなっている。居間の掃き出し窓からはテラスに出られるようになっており、愛犬とふれ合ったり、畑や庭を眺めながらひなたぼっこする方もある。調査訪問時には利用者お二人がテラスのベンチに座ってたばこを吸いながら、「山がすぐそこに綺麗に見えて気持ちがいい」と話しておられた。日よけのゴーヤカーテンは、居間に入る日差しを和らげていた。居間や廊下の壁面には、利用者で作った折り紙作品が多数掲示しており、調査訪問時、包装紙で作った蝶々やビーズ作品の作り方を教えてくださる方もあった。午前中は、ケーブルテレビの演歌番組を皆で見て楽しんでいた。又、数ヶ月ごとに、利用者のリクエストに応じて、映写機で昔の映画を鑑賞できるような時間も作っておられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングのソファでくつろぐ人、ベランダのベンチでくつろぐ人、畳の間で休む人、それぞれリラックスできる居場所を見つけています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自宅で馴染んでいたコタツやタンスなどを引き続き使用することで、心安らぐ空間になっている方も居ます。持込の少ない入居者については、担当スタッフがレイアウトを考えたり、手作り作品などで工夫しております。	
			(外部評価) 入りのドアには、ご自分の居室が分かりやすいよう大きく名前を書いて貼り、担当職員名も掲示されている。全室に温度計をかけ、特に夏場は、西日の強い居室の温度管理を小まめに行い調節をされている。神棚や仏壇を置き、日々手を合わせる方が数名おられ、しきびは、職員が用意し、欠かすことのないように支援されている。こたつで手芸作品を作って過ごす方や好きな演歌歌手のCDを聞く方、日記帳を毎日書く方もおられる。お孫さんの写真や趣味の手芸作品を飾ったり、ご家族の思い出の品々を枕元に置いている方もみられた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 入居者が自立した日常生活が送れるよう、特に安全に配慮した生活動線となっております。息苦しさのないゆったりとした空間となっております。	